

HOW TO
簡易更新!!



釧路農業改良普及センター
JAしべちゃ、JA摩周湖

目 次

■はじめに	P1
1 技術資料のねらい～簡易更新とは～	P2
2 植生調査について	P3～6
1) 植生の見分け方	P3
2) 植生調査の方法	P4～5
3 更新方法の種類	P7
4 更新方法の選択	P8
5 簡易更新の実際	P9
1) 表層攪拌法	P9
2) 作溝法	P10
3) スケジュール	P12～17
6 簡易更新前の作業	P18
1) 土壌物理性の改善 サブソイラ、リノベータ	P18～20
2) 前植生処理の必要性和除草剤の使用法	P21～22
3) 自給肥料（堆肥等）の散布	P23
4) 土壌改良資材（リン酸、石灰など）の散布	P23～24
7 簡易更新時の作業	P25
1) は種量	
2) 化学肥料の施肥量	
8 簡易更新後の作業	P26
1) 掃除刈り	P26～27
2) ギシギシ対策	P28
9 簡易更新事例	P29～34
更新方法別事例	
10 簡易更新のコスト	P35
■トピックス	
・草地の植生悪化とその要因	P6
・簡易更新で失敗しない6つのポイント	P11
・フロストシーディング（初冬季は種）とは	P34

はじめに



近年、「今年の草はなんか乳が出ない」、「ちゃんと踏んでるんだけどサイレージの発酵品質が悪い」なんてことはありませんか？

原因の一つとして草地の植生悪化が想定されます

「イネ科雑草」特にシバムギの割合が多い草地が目立っています

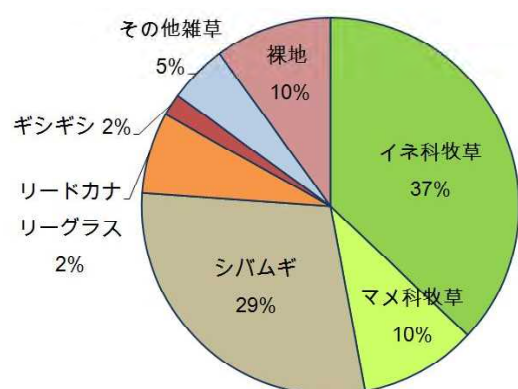
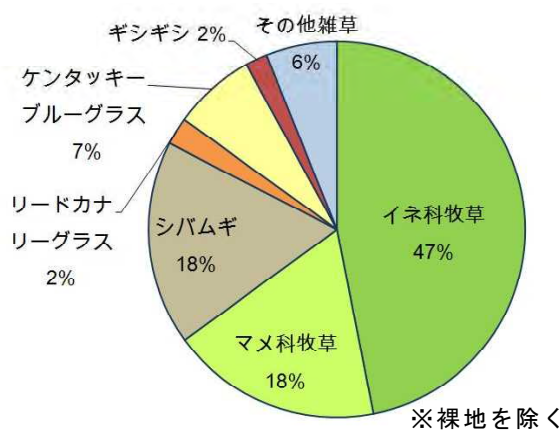


図1 標茶町A地区39筆の平均植生割合



※裸地を除く

図2 弟子屈町B地区143筆の平均植生割合

○シバムギの特徴

- 嗜好性が悪く、サイレージの発酵品質も悪くなる
- 糖含量が低いことなどにより乳酸発酵がしづらい（pHが高くなる）
- 出穂前はチモシーとの判別が困難で、茎が細く倒伏しやすい
- 肥料の吸収性が高い（特に、堆肥やスラリーの多施用は原料草の硝酸態窒素や加里の含量が高くなる）

○雑草の影響

雑草の多い原料草はサイレージ発酵に必要な糖類が少なく、嗜好性が劣ります。また、サイレージの分析値がマメ科の少ない草地にもかかわらず、タンパク含量が高いときは、シバムギが優先している可能性が高いので注意が必要です。

- 乳酸発酵がしづらい(pHが高くなる)
- アンモニア態窒素割合(VBN/TN)が高くなる
- 加里が高くなるなどミネラルバランスが悪くなる

以上のことから、雑草の多い草地の原料草は栄養価が低くなるばかりでなく、牛の健康にも影響を及ぼしている可能性があります。

1 本資料のねらい～簡易更新とは～

簡易更新とは、は種した牧草の発芽・定着をはかるため、表土を攪拌しては種する方法や、草地の表層部に溝を切っては種する更新方法です。土壌を反転耕起しておこなう完全更新と比べ、作業が迅速で土壌浸食の危険も少なく、牧草生産の中断期間も短い利点があります。また、表層に蓄積された養分の活用が期待できます。反面、経年草地における土壌の物理性・化学性の改善は難しい更新方法です。

更新方法の選定や除草剤による雑草処理、時期別の作業スケジュールなどを検討し、植生改善につなげましょう。

〈本資料の構成〉

本資料は、草地の植生調査の方法から、更新方法の選択、更新スケジュールの決定の流れで構成されています。また、簡易更新の各作業工程のポイントを示し、失敗が少ない更新作業を目指します。

さらに、現地事例・コスト比較も掲載していますので参考にしてください。

